

八王子市役所職員の能力開発

八王子市役所では、さまざまな行政課題に対応できるよう職員の能力開発に力を入れています。今号では人材育成を支える制度の一部を紹介し、次号からはその実践的な取組みについて掲載していきたいと考えています。

自主研究グループ活動助成制度

これは、『八王子市人材育成基本方針』に掲げる「付加価値創造型職員（＝“市民感覚”“経営感覚”“チャレンジ精神”“豊かな人間性”を有する職員）」を目指し、育成するための研修制度のひとつです。市政を取り巻くさまざまな課題等について自主的に調査研究を行う3人以上の職員グループの活動を助成し、自己啓発意欲の高揚及び政策形成能力の向上を図るとともに、研究風土の醸成を図ることを目的としています。助成の対象は、図書・資料等の購入費や指導・助言者等に対する謝礼などです。

平成10年度に本制度を設けて以来、20グループがこの制度を活用しました。テーマは、行財政改革、子育て、福祉、環境、産業振興、接遇向上などです。様々な分野の調査研究が行われており、その成果は着実に市政運営に活かされてきています。例えば、行財政改革を採り上げたグループの研究結果の一部は、「しくみと意識のステップアップ作戦（八王子市行財政改革大綱）」の取組みに反映されています。平成16年度は、10月採用の新人職員のグループを含む4つのグループがこの制度を活用し、調査研究を行いました。

大学院入学経費助成制度等

職員の能力開発を支援する研修制度は、上述のほかに 大学院入学経費助成制度、 大学公開講座受講助成制度、 通信教育講座受講助成制度があります。

大学院入学経費助成制度

複雑かつ高度化する社会経済環境に積極的に対応すべく、必要とされる専門的知識や能力を習得しようと大学院に入学する職員に対し、その経費の一部を助成し、もって、学習成果を市政に反映させることを目的とするものです。平成16年度は、2名の職員がこの制度を活用し、大学院で学んでいます。

・法政大学大学院には、本市職員の推薦枠が設けられています。

大学公開講座受講助成制度、 通信教育講座受講助成制度

職務を果たすうえで、自らの能力を最大限に高めるべく上記講座で学ぼうとする職員に対し、その受講料の一部を助成するものです。

・公開講座助成は、いちょう塾（八王子学園都市大学）の講座も対象としています。

職員提案制度

職員提案制度は、市政にかかわる新たな施策や事務改善の提案を全職員に対して募集し、優れた提案については採用するなど、市民サービスの向上、行政の効率化及び職員の政策形成能力の向上を目的として平成 10 年度にスタートしました。提案は、課題提案と自由提案に分けて募集しています。審査の結果、採用と決定された提案は「優秀賞」として、さらに、その中でも秀逸なものは「最優秀賞」として表彰され、それぞれ褒賞基準に基づいて賞状及び記念品が授与されます。また、優秀賞以上を受賞した提案者については、人事記録に登載されるしくみとなっています。

採用提案について担当所管は、実施計画書を策定し、その実施に取り組むこととなっています。また、採用提案の実施にあたっては、提案者の参加も可能としています。本誌『まちづくり研究はちおうじ』も、平成 14 年度の提案「八王子市都市政策研究所の設置」をベースに八王子市都市政策研究会議が翌年度に設置され、同会議の機関誌として誕生した経緯があります。提案者は同会議に研究員として参加し、本誌創刊号に執筆するなど提案の実現に協力しました。

平成 16 年度は、課題提案（テーマは「八王子魅力アップ作戦」、「私が考える〇〇施設のレベルアップ作戦」）に 14 件、自由提案に 36 件の合計 50 件の応募があり、4 つの提案が採用され「優秀賞」を受賞しました。

提案件数等の推移

	10 年度	11 年度	12 年度	13 年度	14 年度	15 年度	16 年度
提案件数	29	32	69	84	70	52	50
採用提案数	5	5	4	2	2	6	4

今後も市は、これらの制度を充実させ、より質の高い市民サービスを行うべく職員の持つ能力を最大限に引き出し、その活用に努めるとともに、高度・多様化する市民要望や厳しい財政状況、地方分権時代の都市間競争などの課題について、長期的な視点から一歩、二歩、三歩と先を見据えた政策を調査研究していきます。平成 17 年度以降は、前述の諸制度における研究報告書や提案書を本誌に掲載するなど、八王子市都市政策研究会議との連携を深め、職員の政策形成能力のさらなる飛躍にチャレンジします。

平成16年度活動経緯

会議名	開催日	開催内容
第1回合同部会	平成16年5月21日	・研究課題の選定について ・「まちづくり研究はちおうじ」編集方針
第2回合同部会	6月18日	・ワークショップ 「はちおうじをどのような“まち”にしたいか」
第3回合同部会	25日	・平成15年度研究成果報告会 「夢をかたちに」(注)
打ち合わせ	7月2日	・研究課題の選定について
委員選考会	9日	・市民委員選考
第4回合同部会	23日	・研究課題の選定について
第1回研究会議	8月4日	・部会の進め方について
第5回合同部会及び 第1回しくみ部会・第1回政策部会	20日	・研究課題の確定 ・日程、進行について
第2回しくみ部会	9月3日	・研究課題別の着眼点について
第2回政策部会	9日	・まちづくり交付金について 講師 大塚哲二 都市計画室主任
第3回しくみ部会	17日	・研究内容の要約による発表と課題の抽出
第3回政策部会	30日	・道の駅について 講師 岡 功英 交通政策室主査 橋本盛重 農林課主査
第4回しくみ部会	10月8日	・研究内容の要約による発表と課題の抽出
第4回政策部会	14日	・研究課題別の着眼点について
打ち合わせ及び 第5回しくみ部会	22日	・共同研究の形態 ・研究内容の要約による発表と課題の抽出
第5回政策部会	29日	・研究内容の要約による発表と課題の抽出
第6回しくみ部会	11月5日	・研究内容の要約による発表と課題の抽出
第2回研究会議及び 第6回政策部会	9日	・共同研究の構成案の説明、意見交換 ・研究内容の要約による発表と課題の抽出
第7回しくみ部会	19日	研究内容の要約による発表と課題の抽出
第7回政策部会	26日	
第8回しくみ部会	12月3日	
第8回政策部会	10日	
第6回合同部会	14日	・研究内容の要約による発表
打ち合わせ	21日	・共同研究の詳細について
投稿論文審査会及び 第9回しくみ部会・第9回政策部会	平成17年1月14日	・一般公募投稿論文審査 ・共同研究の詳細について
打ち合わせ	2月15日	・提言の詳細について
第10回しくみ部会	25日	共同研究のまとめ
第10回政策部会	3月1日	

(注)職員研修の一環として行われた。当日は約100名の参加者があり、活発な意見交換が行われた。

委員、研究員及び事務局の紹介

委員

羽貝 正美	はがい まさみ	東京都立大学大学院都市科学研究科教授 都市政策研究会議座長 / しくみ部会長
前田 成東	まえだ しげとう	東海大学政治経済学部教授 都市政策研究会議委員 / 政策部会長
中川 和郎	なかがわ かずお	都市政策研究会議委員 / 市民公募委員
新倉 栄一郎	にいくら えいいちろう	都市政策研究会議委員 / 市民公募委員
吉田 樹	よしだ いつき	都市政策研究会議委員 / 市民公募委員 東京都立大学大学院都市科学研究科
磯 洋一	いそ よういち	まちづくり計画部長 都市政策研究会議委員
西田 和夫	にしだ かずお	総合政策部長 都市政策研究会議副座長

研究員

池内 司	いけうち つかさ	水道部工務課課長補佐兼主査
太田 國芳	おおた くによし	下水道部総務計画課主査
小澤 篤子	おざわ あつこ	生涯学習スポーツ部生涯学習総務課課長補佐兼主査
神山 善光	かみやま よしみつ	市民部浅川地域事務所課長補佐兼主査
菅野 匡彦	かんの まさひこ	こども家庭部子育て支援課
久間 毅	くま つよし	財務部財政課主査
田口 啓明	たぐち ひろあき	環境部戸吹不燃物処理センター
野村 秀郎	のむら ひでお	まちなみ整備部市街地整備課
長谷川 仁	はせがわ ひとし	道路事業部計画課主査
福島 稔明	ふくしま としあき	下水道部管路建設課課長補佐兼主査
三上 真史	みかみ まさふみ	市民部北野地域事務所
渡辺 富士夫	わたなべ ふじお	まちなみ整備部開発指導課

事務局

尾崎 敏夫	おざき としお	総合政策部政策審議室主幹
木内 基容子	きうち きよこ	総合政策部政策審議室主幹
西山 功二	にしやま こうじ	総合政策部政策審議室主査
三宅 智之	みやけ ともゆき	総合政策部政策審議室
元木 博	もとぎ ひろし	総合政策部政策審議室